



い せ づか 伊勢塚遺跡 (第2・3次調査)

方形周溝墓群出現！古墳だけがお墓じゃない

公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団では、県道花園本庄線建設に先立ち、平成28年3月から伊勢塚遺跡の発掘調査を行っています。

調査では、古墳時代前期(約1700年前)の方形周溝墓ほうけいしゅうこうぼが5基発見されています。方形周溝墓とは四角く溝しゅうこうをめぐらせ、その内側に低い盛り土をしたお墓で、弥生時代から古墳時代にかけてみられます。盛り土や埋葬施設は後世に失われてしまうことが多く、本遺跡でも周溝だけが残されていました。周溝からは、お供えしたとみられる壺つぼや甕かめなどの土器が見つかりました。



空から見た伊勢塚遺跡(西から)

伊勢塚遺跡と周辺の遺跡

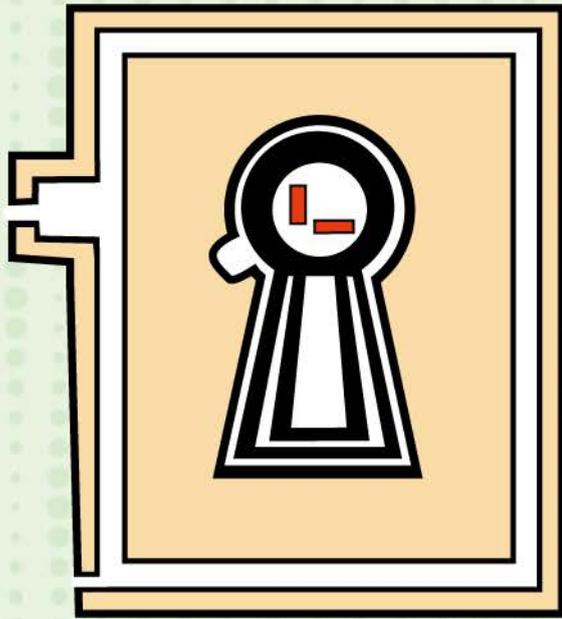
- 東光寺裏遺跡とうこうじ うちら 古墳時代中期の住居跡と後期の円墳(2基)
- 石蒔遺跡いし まき 古墳時代前期の方形周溝墓(11基)と集落跡
- 地神祇遺跡じ しん ぎ 古墳時代前期～後期にかけての集落跡



第2号方形周溝墓(復元想像図)

主催：公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団
共催：埼玉県教育委員会、深谷市教育委員会

古墳と方形周溝墓はどこが違うんだろう？



さきたまいなりやま
埼玉稲荷山古墳

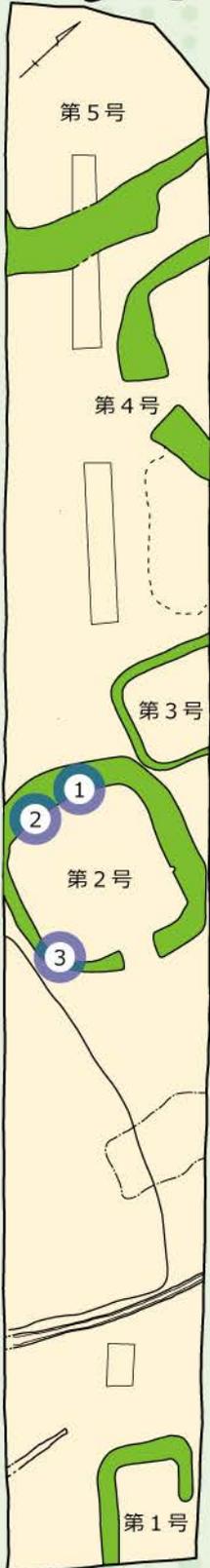
0 1:2,500 100m



第2号



方形周溝墓は古墳よりも盛り土が低く、一か所にいくつもまとまってつくられているという特徴があるよ。



かめ
割れた状態で出土した台付甕



底に台が付いているのがわかります。



かめ
転落してさかさまに出土した小型甕



つぼ
口が欠けた壺

このような形の口がついていたと考えられます。



みなみしどがわ

つぼ

参考：美里町南志渡川遺跡第6号墓出土の壺